

大学教育への効果的なサポートで、大きな成果を得る 時代の要請に応える教育・研究支援プログラム

全学教育貢献賞

全学教育の目的達成のため、教育方法及び教育技術の向上を図り、優れた教育を推進することを意図して、全学教育における授業及びその支援、教育方法及びその支援等について優れた業績を挙げた教職員や、創意工夫に溢れる取り組みにより大きな教育上の成果を挙げた教職員を表彰している。

理学研究科 准教授 清水 悟

学生がわかりやすいように、要点を的確に伝える講義を心がけ、毎回演習問題を解かせるなど、理解を定着させる工夫をしている。



医学系研究科 准教授 玉川 明朗

運動生理学に基づく身体運動の原理をわかりやすく学生に理解させる工夫を長年続けている。



総長教育賞

授業・課外活動・国際活動などの指導・教育方法・支援において、誠意と熱意をもって職務に取り組み、優れた教育の成果を挙げた教職員について、教育の貢献度を高く評価し、表彰を行っている。

理学研究科 准教授 清水 悟

全学教育科目「解析学」に関する授業において、毎回演習問題を解かせ理解を定着させる工夫などをした優れた授業が学生から高く評価された。

農学研究科 教授 佐藤 英明

アニマルテクノロジーに関わる多くの教科書及び実験指導書を出版し、それを活用した優れた講義を行い、学生から高評価を得た。

情報科学研究科 教授 中尾 光之

「産学協同による地域創造型アジアIT人材育成・定着プログラム (ASIST)」を活用し、独自のアイデアの実践により、本学の教育の国際化及び産学連携教育に貢献した。

流体科学研究所 教授 高木 敏行

工学研究科 教授 升谷 五郎

国際交流戦略室小委員会の活動を通じて、「諸外国との学術交流協定の締結」や「共同教育プログラム」などを積極的に推進し、本学の教育の国際交流の発展に貢献した。

理学研究科 教授 山口 昌弘

理学研究科 教授 小谷 元子

「東北大学デイ」事業及び国際広報に関する企画立案・実施を通じて、本学の教育・研究活動を積極的に海外に情報発信するなど、本学の教育の国際化の進展に貢献した。



文部科学省「大学教育支援プログラム」の採択(2010年度採択事業)

()内は実施主体部局

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/about/08/about0803/>

周産期対策のための医療環境の整備 【院内助産所等の設置】

■ 東北大学 周産期対策のための医療環境の整備(病院)

大学病院が院内助産所等の設置・拡充のための初期投資を行い、助産師の養成環境を整備することにより、産科医の負担軽減を図る。



大学病院における医師等の 勤務環境改善のための人員の雇用

■ 東北大学病院業務改善推進事業(病院)

医師事務作業補助者等を雇用し、関係職種間の役割分担を推進することにより、医師・看護師の業務負担の軽減を図る。

学業・クラブ活動に邁進し、のびやかに成長する 個性が輝くキャンパスライフ

第1回日本学術振興会 育志賞受賞

日本学術振興会は、天皇陛下の御即位20年に当たり、社会的に厳しい経済環境の中で、勉学や研究に励んでいる若手研究者を支援・奨励するための事業の資として、2009年に陛下から御下賜金を賜ったことにより、「日本学術振興会 育志賞」を創設した。これは、日本の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士課程学生を顕彰することを目的としている。その記念すべき第1回目の受賞者の1人に、東北大学理学研究科物理学専攻の内田健一さんが選ばれた。

内田さんの研究テーマは「スピン流・熱流変換現象の基礎物理及び応用技術の開拓」。2月には、授賞式が行われ、天皇后両陛下も出席された。



学友会の4個人並びに1団体が「平成22年仙台市スポーツ賞」受賞

2011年2月7日、江陽グランドホテルにおいて、アマチュアスポーツで優秀な成績をおさめた個人・団体に贈られる「仙台市スポーツ賞」の表彰式が行われ、昨年に引き続きトライアスロン部が栄光賞を受賞した。

■ 個人賞

「栄光賞」 藤本 貴史 トライアスロン

2010日本学生トライアスロン選手権観音寺大会
男子の部 第1位

「奨励賞」 富田 将茂 トライアスロン

第15回全日本大学トライアスロン選抜大会 男子の部 第1位
2010年度学生日本デュアスロン選手権 男子の部 第2位

「奨励賞」 相楽 龍也 トライアスロン

2010年度日本学生スプリントトライアスロン選手権
男子の部 第1位

「奨励賞」 大橋 悠輔 オリエンテーリング

2009年度日本学生オリエンテーリング選手権大会
ミドルディスタンス部門1位

■ 団体賞

「栄光賞(2年連続)」

東北大学学友会トライアスロン部

2010日本学生トライアスロン選手権 男子団体の部 第1位
2010年全日本大学トライアスロン選抜大会 男子団体の部 第3位



第49回全国七大学総合体育大会

全国七大学総合体育大会とは、北海道大学・東北大学・東京大学・名古屋大学・京都大学・大阪大学・九州大学の七大学で行われる体育大会。学友会男子バレーボール部、弓道部女子、アーチェリー部、ソフトテニス部女子が優勝した。なお、男子バレーボール部は全勝優勝、弓道部女子は2007年から4連覇の偉業を成し遂げた。



卓球部

卓球部は、学友会体育部四賞の一つであり、1年間で最も優秀な成績を収めた団体に贈られる「黒川杯」を受賞した。



トライアスロン部

トライアスロン部は、学友会体育部四賞の一つであり、1年間で最も行事内容の充実した団体に贈られる「志村杯」を受賞した。また、同部の藤本貴史さんに、4年間の成績が優秀である当該年度卒業生に授与される個人賞「学友会長賞」が授与された。



オリエンテーリング部

オリエンテーリング部の菅野敬雅さんが、2011年度ジュニア世界オリエンテーリング選手権大会に日本代表として派遣された。これは2009年度に続く快挙である。

